

九州バイオリサーチネット

イベント実施結果

ICTを活用した畜産生産シンポジウムを開催（10/27開催、鹿児島市）

(<http://www.k-baiteku.sakura.ne.jp/ivent/ivent.htm>)

実施結果

畜産関連について、大学、民間ICT企業、生産者等と連携し、それらが有する研究成果や現場ニーズを結集し、さらなる技術開発によるブレークスルーを期するため、「ICT技術の活用による新たな生産方式の展開を目指して」をテーマにシンポジウムを開催しました。

演題及び講師

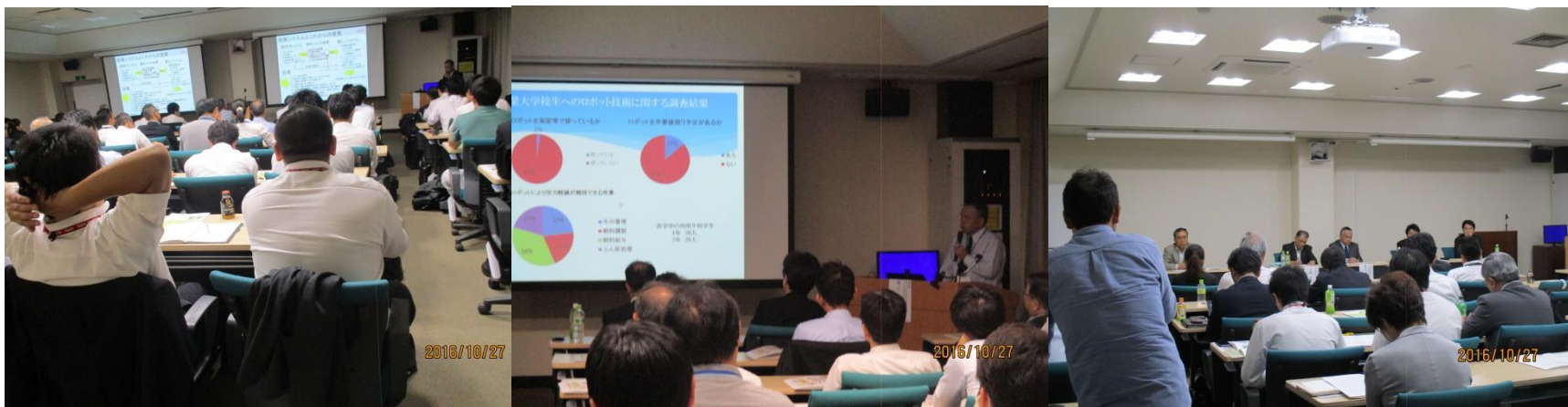
- ① ICTの農業現場への活用と今後の可能性について 富士通株式会社 鹿児島支店 吉岡 英行 氏
  - ② 畜産における現場ニーズとICT活用への期待 鹿児島県農業開発総合センター 梅北 信二郎 氏
  - ③ 人工知能ロボットを活用したブロイラー養鶏飼養衛生管理システム 鹿児島大学共同獣医学部 准教授 小澤 真 氏
  - ④ 肉用牛のバイタルセンシングによる精密飼養へのチャレンジ 鹿児島大学共同獣医学部 教授 帆保 誠二 氏
- パネルディスカッション 九州バイオリサーチネット本田コーディネーター及び上記講師

開催期日：平成28年10月27日13:00～16:30

開催場所：鹿児島大学大学院連合農学研究科3F会議室(鹿児島市)

主催：農林水産省、九州バイオリサーチネット 共催：鹿児島大学産学官連携推進センター

当日は、大学、公設試及び民間企業等から79名(国研1、行政13、公設試9、大学6、農業団体等14、民間企業28、その他8)の参加がありました。また、会場からは生産現場における課題やICTを活用した技術等に対する期待等の声がありました。



当日の様子